

学校だより



平成26年12月25日
尼崎市立尼崎養護学校

様々な行事や授業に取り組んだ4ヶ月間

12月18日の朝、校庭の気温はついに0℃を記録しました。7時過ぎには空から白いものが舞い降りてきて、水たまりには薄い氷が張り、身を切るような冷たさを感じました。本格的な冬の到来です。バスから降りてくる児童生徒たち。寒さにじっと耐えている子やワーワーと声を上げて寒さに文句を言っている子。中には、この寒さOK！と寒さを満喫する(?)子、実に様々です。先ほどまでしーんと静まりかえっていた校舎内に、元気な声が響きわたります。活気ある一日の始まりです。

子どもたちは日々の生活で四季の移り変わりを感じ、その季節に応じた授業や行事を経験し、学んでいます。

先日、小6・中3の児童生徒との進学面接を実施しました。校長室での個人面接はやはり緊張したようで、普段笑顔の多い子どもが固まったまま、困っている様子も見られました。私はこの緊張感がとても大切だと感じています。進学するために、授業等であまり関わりのない人に質問され、自分の力で表現し、対応しなければならぬ……そんな時間を過ごしながら進学する決意や、節目の大切さを感じてくれると思っています。

明日より13日間の冬休みが始まります。慌ただしい年末、一夜明ければ新しい年がやってくる。「笑顔で過ごせるようなすばらしい年にしたい」ですね。

すばらしい演奏をありがとう

武庫川女子大附属中学校・高等学校との交流会

体育館で共に過ごした1時間。そこに集まった人たち、みんなが温かい雰囲気を感じたことでしょう。

武庫川女子大附属中学校・高等学校との交流は2000年から始まりました。今年で15年目になります。そう、中学3年生の人たちが生まれた年から始まったとても歴史ある交流会です。

約60名の部員が奏でる音楽。音の迫力に驚きましたね。静かに、やさしく……そして力強く。その変化をみごとに表現してくれた演奏でした。

プロではありません、アマチュアです。それも、尼養の生徒と同じ中学・高校の生徒たちが集まって演奏しているのです。

「みんなで気持ちを合わせれば、こんな演奏ができる。」「一人一人の力は小さくても、みんなで力を合わせれば、こんなに力強く、人を感動させる力になる。」そんなメッセージを伝えてくれたようでした。



また、ボランティア部からも手作りフェルト絵本をいただきました。尼養の玄関で毎朝みんなを出迎えてくれるフェルトで作られたカレンダーも、15年前に贈られたものです。(途中で新しいカレンダーに変わっています。)

楽しいひとときを共に過ごすことができ、良い思い出となりました。



この手でいこう

尾崎真也

店の中で、電動車いすを操作しながら品物を眺めていると、「車いす押しましょうか」

見知らぬ人から声がかかることがある。特にきれいな女性からだと、<世の中、すてたもんじゃないな>胸がおどる。

「車いすですね、電気で動くんです。狭いところでも操作はなれているんで、ぼくはだいじょうぶです」

わたしは健康な人のように話ぐうまくできない。だから、そのぶんゆっくり言った。しかし先方は言葉がわからなかったらしく、びっくりした顔で後ずさりをする。わたしの体にはいつも力がこもっていて、それがますます強くなっていく。すると、口元がとんがり、顔も熱くなって、手足がひとりでにドタバタし始める。これは脳性まひによるため、緊張したり焦りが出たりすると、ひどくなっていくのである。これに音楽が流れると、酔っぱらったタコが踊っているようにも見えらるしい。わたしは悩んだ。

ある日、初老のご婦人に、「ぼく、えらいね。だいじょうぶ。お手伝いしようか」と言われ、<何がボクだっ>とも思ったが、ここは相手の心遣いを考えて、「ありがとう！」

はじめにそう言ってから頭を下げる。そのあとで、手伝う必要がない理由を、よけいな敬語は省き、ひとつひとつの単語を区切って言ってみる。すると相手は、「そう。じゃあ気をつけてね」笑みを浮かべ、手を振った。

ありがとう、という心さえ最初に伝われば、言葉が不自由でも、手足がドタバタしていても、こちらの気持ちは何とかわかってもらえるようだ。街でやさしく声をかけてくれる人がいたら、この手でいこう…。1994年8月 療護施設T舎にて

このエッセイを書いた尾崎さんは40歳を過ぎてから、アパートを借り、介護サービスを受けながら一人暮らしをされています。現在も自分自身のホームページで、私たちに様々なメッセージを発信しています。

「笑顔」と「ありがとう」。多くの人々と関わりながら生きている私たちにとって、心がけたい、大切なことです。

高等部

生活技術での清掃活動



尼崎市内に「日興商会」という会社があります。先日その会社の恩田さんと松浦さんが「尼崎養護学校の教育に役立てて下さい。」と、ベルマークを持ってきて下さいました。点数を計算してみると、375,000点もありました。実は2012年度、本校はベルマーク集票全国ベスト100で第2位という成績を納めました。そのときも「日興商会」から寄付していただいたベルマークによる点数でした。

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」。ベルマーク運動は、そんな願いをこめて1960年に始まりました。PTAなどのボランティアで生み出された資金(ベルマーク預金)で学校の設備や教材をそろえることができています。

尼養はあと4年で市内移転します。そのときに必要な物品を、このベルマーク貯金で揃えていきたいと考えています。

贈呈式にはPTA役員のお母さんと、生徒会より河西隆成君・吉田理優さんが参加してくれました。

日興商会の皆さん、ありがとうございました。



(株) 日興商会
〒660-0892
尼崎市東難波町
5-10-30

高等部の授業【生活技術】のメンバーが校内の清掃活動に取り組んでくれました。場所は校長室前廊下。粘着ローラーを片手に廊下を往復しながら、小さなゴミ、汚れを拭き取ってくれました。約20分で廊下は見違えるようにきれいになりました。ありがとう。寒い中ご苦労さまでした。



2学期も駆け足で過ぎ去っていきました。日々の教育活動にご協力いただきありがとうございました。新年という節目を迎える時、子どもと一緒に大切な時間をお過ごし下さい。3学期は1月8日からスタートします。では、良いお年をお迎え下さい。